

2015年度 高梁城南高校 第1学期終業式 校長式辞

明日からいよいよ夏休みです。皆さん、この1学期を振り返ってどうでしたか。4月より成長したと自信持って言えるヒトが何人いるでしょうか。終業式という節目の今日、謙虚にじっくり振り返って、次のステップへの準備をしてください。

さて、この1学期の間、様々な皆さんの活躍がありました。

電気科では「ものづくりコンテスト」で中国大会出場、また難関の国家試験「第二種電気工事士試験」に挑戦中。

デザイン科では、高梁市の新庁舎1階の市民ホールの壁画デザインを担当したことにより、高梁市から感謝状を贈られました。また、6月にはD2の「高梁三十四景」作品展が高梁市内で開催されました。また、各種コンテストで多くの人が入賞、活躍しています。

総合情報科では3年生が商業実務大会に参加。「ワープロの部」で団体3位、個人で津野邊さんが2位、中桐さんが佳良賞を受賞しました。津野邊さんが全国大会出場を決めるなど素晴らしい成績を残しました。また多くの人が入賞、活躍しています。

環境科学科では、1学期の間に、3年生が南幼稚園児と芋の苗植え、南婦人会の方々と花植え交流、もちきびの種まき、2年生は真庭市での校外実習、1年生は老人保健施設の見学と、地域の中で生き生きと学び、活躍する姿が印象的でした。

3年前に赴任した頃よりも、城南の生徒の皆さんが確実に逞(たくま)しくなっていると実感しています。実際、この1学期の間にも、地域の方から、城南生は率先してよく動いてくれると感謝やお褒めの言葉をたくさんいただきました。クリーン作戦、わくわく子どもフェスタ、出前授業などです。

一方で、残念なこともありました。地域の方から、駅やバスセンターでたむろしている様子、列車の中での様子、服装などお叱りの電話もありました。時には、喫煙をしているのではないかという電話もありました。一部の生徒とはいえ、本当に残念です。地域に応援団もでき、何かと本校が注目されるようになりました。今、一人一人が城南の新たな伝統を日々作っている、という自覚と誇りを持って生活していただきたい。学校の中であっても、外であっても、皆と生活を共にしている公共の場です。あたりまえですが、ルールを守って、周りに配慮できる人になりましょう。

最後に、今日は、夏休みの宿題を私から出したいと思います。とても大きな宿題です。2つのことを、心にとめて自分なりに考えてほしいのです。

1つは、来年の夏から、選挙年齢が18歳以上に引き下げられることです。先日、キビケーブルテレビでのインタビューに答えていた人は、たいへん素晴らしいコメントをしていました。「1票の重みを感じながら是非投票したい」「勉強して投票したい」など前向きなコメントで大変うれしくなりました。皆さんには、権利を放棄することなく、しっかり意見表明

をしていただきたい。皆さんの政治的関心も高まると思うので、学校で選挙や政治について学ぶ機会を増やしたいと思います。

もう1つは、今年が戦後70年の節目の年であることです。この間、日本は戦闘で1弾も発射せず、1人の戦死者も出していません。日本のように、この70年間戦争をせず、平和を享受してきた国は世界196カ国（北朝鮮を含む）の中でも極めて少ないのです。

今年、愛知県内の高校生が、全国各地で平和を呼びかける催しを計画しています。催しの名前は「高校生・戦後70年『未来』プロジェクト」。愛知県内の私立高校の生徒が中心のボランティア組織「愛知県高校生フェスティバル実行委員会」が主催し、愛知県内約50校600人が運営に携わっています。7月19日に前夜祭があり、「原爆の火」の自転車リレーや70万羽の折り鶴アートなど、断続的に12月まで続くそうです。

実行委員長の生徒は、戦争体験者の話を聞いたことをきっかけに、戦争について考えるようになったと言います。空襲警報が鳴り響き、焼夷（しょうい）弾で街が焼け野原になる。「死の恐怖」と隣り合わせの生活を想像して身震いし、「感じたものを伝えないといけない」と思ったそうです。また、副実行委員長の生徒は、映画などで戦争の歴史に触れても、実感がわかず「あまり関係はない」と思っていたそうです。しかし、彼女が今年3月に会った語り部の、戦争の悲惨さを一生懸命伝えようとしている姿に心が動いたと言います。

大人になった時も平和であってほしいという思いを込めた、高校生の手作りのこの取り組みは、フェイスブックで発信し、70万以上の「いいね！」獲得を目標にしているそうです。

この夏、終戦記念日や広島・長崎の原爆慰霊の式典がニュースで流れると思いますが、皆さんもぜひ平和について考えてみてください。そして、近い将来、投票権を手にした時、大切なその一票をどうすべきか自分なりに考えてほしいと思います。それが、この夏の私からの宿題です。

明日から一区切りの夏休みを迎えます。高校生として勉強、部活、インターンシップは当然ですが、家の手伝いや地域のボランティアなど、普段お世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて、普段できないことに一つは挑戦しましょう。

3年生は、進路実現に向けてとても大切な夏となります。最後まで、あきらめることなく、志望の実現に向けて頑張ってください。オリンピック金メダリスト、マラソンの野口みずき選手の言葉を贈ります。**「走った距離は（努力は）裏切らない」**

では、今年は台風も多く、熱い夏になりそうですが、事故や怪我のない規則正しい生活を過ごして下さい。そして、懸命に努力して、9月には、さらに成長した姿で出会えることを楽しみにしています。